

第5回政策討論会の概要及び主な意見等について

○協議事項

議会報告会での市民の意見について

○概要

資料に基づき説明

○主な意見等（Q：議員、A：座長等）

Q：市名変更しなくてもよいとの意見の人は現状のままでよいことから、消極的に感じる。議会報告会に参加した人の意見を市民の意見と捉えるのは早計ではないか。アンケート調査をする等、サイレントマジョリティの意見をくみとらないといけない。

A：事務局からの報告は、議会報告会での意見記入用紙を整理したものであり、市民の意見としてまとめたものではないことから、あくまで参考にとどめてもらいたい。

○協議事項

「丹波ブランドと市名について」の調査結果について

○概要

資料に基づき説明

○主な意見等（Q：議員、A：座長等）

Q：議会として19小学校区のうち半分の地区しか議会報告会で回れなかった中で、まとめることに対する共通認識が必要ではないか。

A：今回政策討論会を活用した議会の取組については、要望団体から出てきた内容がそのとおりであるのか調査を行う目的で取り組んだ。議会報告会の9会場には他地区からの参加もあり、概ね要望団体の指摘は把握できたのではないかと。市名変更をするかどうかの議論に移った場合には、市民全体の意見を聞く必要があると思うが、現在の取組においては、9会場で十分な調査ができたのではないかと。

Q：11月の議会報告会で市名変更の議論をする可能性はあるのか。

A：5月に議会報告会を開催しなかった地区からは、様々な意見が出ると思うが、まだ議案になる等、発議された案件ではない。議会としては、市名変更について全地区で開催するだけの問題とはしていなかった。今後、市当局の動向を見据えながら、次のステップへ行かなければならない時は、議会運営委員会の中で検討していくことになる。

Q：会派や議員活動において、市名変更に対して積極的に意見を聞いていくとの共通認識でよいか。

A：ぜひ取り組んでももらいたいとの思いを持っている。